# **OPENTEXT**<sup>™</sup>

# ライセンスマネージャ

# 管理者ガイド

株式会社オーシャンブリッジ

対象バージョン: Brava Desktop 16.0

## 目次

ライセンスマネージャ概要
ライセンスマネージャについて3
ライセンスマネージャの構成3
動作環境4
セットアップの概要5
ライセンスマネージャの導入手順5
Brava Desktopの導入5
設定方法6
インストールと初期設定6
ライセンスファイルの取得6
ライセンスマネージャのインストール7
ライセンスマネージャの初期設定9
ライセンスの管理13
ライセンスの登録と削除13
クライアント PC へのライセンス配布14
ライセンスの認証方法15
ライセンス使用状況の確認18
シート使用状況の確認
リモート管理21
リモート管理ユーザー情報の登録21
ライセンスマネージャへのリモート接続22
ライセンスマネージャのアンインストール24
お問い合わせ先

## ライセンスマネージャについて

ネットワークライセンスを適用した Brava Desktop を管理する方法を説明します。

本ガイドでは、クライアントソフト「Brava Desktop 7.1 ~ Brava Desktop 16.0」のライセンスを管理できるライセンスマネージャ「IGC License Manager 1.1」の導入方法について記載しています。 ライセンスマネージャは、ローカルネットワーク環境内において各種クライアントアプリケーションの ライセンス管理を行うためのプログラムです。

## ライセンスマネージャの構成

下記の構成図はライセンスマネージャサービスが必要とするポートを示しています。

ライセンスマネージャへのアクセスにはリモート管理 PC はサービスポートを、Brava Desktop は内部 または外部ポートを使用します。ファイアウォールの外部からライセンスマネージャサービスに接続す る場合は、サービスポートと外部ポートに対するアクセス許可を設定する必要があります。



## 動作環境

### IGC License Manager 1.1 の動作環境は以下の通りです。

OS	Windows Server 2012/2012 R2			
	• Windows Server 2008 R2 SP1 (64bit 版)			
	• Windows Server 2003 R2 SP2 (32bit 版)			
	• Windows 7 SP1 (32/64bit 版)			
スペック	<ul> <li>CPU:利用する OS の推奨スペック以上推奨</li> </ul>			
	• メモリ:2.0GB 以上 推奨			
	• ハードディスク空き容量:製品インストールに 250MB 以上			
ネットワーク	<ul> <li>TCP 8400 番ポート: クライアントマシンとの通信用(※必須)</li> </ul>			
	• TCP 8208 番ポート:リモート管理用(※リモート管理を行う場合のみ)			

ライセンスマネージャで管理できる「Brava Desktop」のバージョンは以下の通りです。

Brava Desktop 7.1 Service Release 1 (ver.7.1.1.17)

• Brava Desktop 7.2 (ver.7.2.0.22)

• Brava Desktop 7.3 (ver.7.3.0.7)

• Brava Desktop 7.4 (ver.7.4.0.10)

• Brava Desktop 16.0 (ver.16.0.2.6)

※Brava Desktop 7.0 以前のバージョンは、IGC License Manager 1.1 では管理できません。

※Brava Desktop 7.2 以前のバージョンについてはサポートを終了しております。

ライセンスマネージャや Brava Desktop の動作環境に関する最新情報は、下記をご確認ください。

▼Brava Desktop 動作環境

http://www.bravaviewer.jp/support/bd/requirements.html

## セットアップの概要

本ガイドでは、ライセンス管理ソフトとして「**ライセンスマネージャ**」やクライアントソフトとして 「Brava Desktop 16.0 」を導入・管理する方法を説明します。始めにライセンスマネージャを導入し、 次にクライアント PC へ Brava Desktop をインストールします。

ライセンスマネージャ導入時の流れ

- 1. 購入したネットワークライセンス用のライセンスファイルを取得します。
- 2. ライセンスマネージャをインストールします。
- 取得したライセンスファイル「IGCLey.lic」を使用し、ライセンス情報をインポートします。
   本ライセンスファイルは、Brava Desktop をインストールする際も使用します。
   ライセンスマネージャのリモート管理を行う場合は、リモート管理のユーザー情報も登録します。
- ファイアウォールが動作している場合、ライセンス管理用サービスが使用するポートに対して、 接続を許可する規則を追加します。

### BRAVA DESKTOP 導入時の流れ

- 1. Brava Desktop インストールプログラムとライセンスファイルをクライアント PC へ配布します。
- 2. Brava Desktop をインストールします。
- 3. Brava Desktop を起動し、購入モデルがサポートしているフォーマットのファイルを開きます。

## 設定方法

## インストールと初期設定

ライセンスマネージャのセットアップは簡単です。インストール直後からすぐに使用開始できます。 ファイアウォールを経由してクライアント PC の認証処理やリモート管理 PC からライセンスマネージャ への接続を許可する場合は、ファイアウォールを越えてライセンスマネージャサービスにアクセスでき るよう別途設定する必要があります。

ライセンスマネージャを使用するには、以下の順にセットアップを行います。

- (1) ライセンスファイルの取得
- (2) ライセンスマネージャのインストール
- (3) ライセンスマネージャの初期設定

## ライセンスファイルの取得

はじめに、購入したライセンス分のライセンスファイルを取得します。

ネットワークライセンスの場合は、購入したライセンス1本分につき1つ発行されるライセンスファイル (IGCKey.lic) をライセンスマネージャ 1.1 と Brava Desktop 16.0 それぞれのプログラムインスト ール時に適用することによって製品版として動作します。

ライセンスファイルの初回発行を行う場合は、メールにて以下の情報を明記して技術サポート窓口 (bdt-support@oceanbridge.jp)へ依頼してください。

件名	「ライセンスマネージャのライセンス発行依頼」
本文	次の情報を明記してください。
	・購入製品の PIN Number(5 桁または 6 桁のお客様番号)
	・ライセンスマネージャインストール先のコンピュータ名または IPv4 アドレス
	・使用する Brava Desktop バージョン(16.0)

注意点:

- ライセンスの新規発行(再発行)は、製品開発元である OpenText 社(米国)での手続きが必要 です。そのため、時差の影響により発行完了までに 2~3 営業日かかる場合があります。
- ネットワークライセンスのライセンス認証は、Brava Desktopの起動時やファイルを読み込むたびに行われます。ライセンスマネージャサーバーに対して毎回接続する仕組みのため、サーバーとの間で常に通信できる環境でないと、Brava Desktopを使用できません。
   クライアント PC・サーバー間の通信に用いる宛先情報としてライセンスマネージャインストール先サーバー(ライセンスマネージャサーバー)のコンピュータ名または IPv4 アドレスをライセンスファイルに登録します。

ライセンスマネージャのインストール

ライセンスファイルを入手したら、ライセンスマネージャをインストールします。 ライセンスマネージャをインストールする前に、以下の点について事前に確認してください。

- Windows の「UAC」(ユーザーアカウント制御)は無効にします。詳しい設定手順は、Microsoft 社のサポートページなどをご参照ください。
- ファイアウォールを有効にしている場合は、TCP8400 番ポートおよび TCP8208 番ポートへの接続 を許可する設定を登録してください。
- セキュリティソフトが稼働している場合は一時的に無効化します。
- ライセンスマネージャを管理するための管理者権限を持つユーザーアカウントを一つ用意します。
   定期的にパスワード変更を必要とするユーザーを使用する場合、サービスのログオンアカウントを
   変更している場合、その都度パスワード更新が必要になるので、ご注意ください。
   本製品のインストールからサービスのインストール、ライセンス情報の登録処理など一連のセット
   アップ作業は同一ユーザーアカウントを使用して実行してください。

ライセンスマネージャのインストール手順を説明します。

- 1. ライセンスマネージャのインストールプログラムを下記 URL からダウンロードします。 http://www.bravaviewer.jp/support/dl/bd/LicenseManager.exe
- 2. LicenseManager.exe をダブルクリックし、インストール画面を起動します。
- 3. 「Welcome to the InstallShield Wizard for IGC License Manager」画面で[Next]ボタンをクリッ クします。



4. 「Choose Destination Location」画面が表示されたら、プログラムインストールフォルダを確認 してから[Next]ボタンをクリックします。(既定値のままインストールすることを推奨します。)



5. 「Ready to Install the Program」画面が表示されたら、[Install]ボタンをクリックします。



6. インストール処理が開始されます。「InstallShield Wizard Complete」画面が表示されたら[Finish] ボタンをクリックします。

Installibield Winard Complete
The DertalDhold Trand has necessfully installed SC Linese Benger. Click Finish to sold the wigner.

ライセンスマネージャの初期設定

プログラムをインストールしたら、次にライセンス管理用サービスのインストールとライセンスファイ ルのインポート(登録処理)を行います。  Windowsのスタートメニューから、[プログラム] – [IGC] – [License Manager] – [IGC License Manager]を右クリックしてから「管理者として実行」をクリックすることで、「IGC License Manager Administrator(ライセンスマネージャアドミニストレーター)」画面(以下、管理画 面と記載)を起動します。



※上記画面は、IGC License Manager サービスに未接続の状態であることを示しています。

 管理画面メニューの[Tools] – [Service] – [Install Service]を選択すると、ライセンスマネージャ 管理用プログラムが Windows サービスとして自動的にインストールされます。 サービスのインストールが完了すると、管理画面は下記画面(ライセンス未登録の状態)に表示

状態が切り替わります。



管理用サービスのインストール後は、管理画面を起動すると自動的に本サービスに接続されます。 本管理画面では、本サービスに対する接続・切断、開始・終了の操作やサービスのインストー ル・アンインストールなどを実行することができます。

注意:リモート管理用のポート番号(既定値は8208)は管理画面メニューの[Tools] – [Communication Setup]で変更できます。ただし、サービスに接続している間、本ポ ート番号を変更できません。また、ライセンスマネージャが使用する TCP ポートは、他 アプリケーションと競合しないよう注意してください。

- 3. ライセンスマネージャインストール先サーバーの OS が Windows Server 2003 以外の場合、インストールした管理用サービスの「スタートアップの種類」を初期値から変更します。
  - (1) Windowsの「管理ツール」から「サービス」をクリックし、サービス一覧を表示する
  - (2) サービス名「IGC License Manager」のプロパティを表示し、「全般」タブを表示する
  - (3)「スタートアップの種類」欄の選択肢を「自動」から「自動(遅延開始)」に変更する



(4) [OK]ボタンをクリックしてプロパティを閉じる

 管理画面メニューの [Tools] – [License Setup]をクリックして License Setup 画面(ライセンス 情報の登録画面)を表示します。

本設定画面で購入したライセンス情報の登録処理を行います。ライセンスの登録手順には、二通り の方法をご用意しています。どちらの方法からでもライセンス情報を登録できます。

・ライセンスファイルの指定:

ライセンスファイルを読み込むことでライセンス情報を登録します。

本手順で登録する場合は、[Import From File ...]ボタンをクリックすると表示される Import License File 画面上で取り込むライセンスファイル(IGCKey.lic)を指定します。

・ライセンス情報の直接入力:

ライセンスファイルをメモ帳などのテキストエディタで開くと確認できるライセンス文字列 (369 文字の文字列)を入力する形でライセンス情報を登録します。

本手順で登録する場合は、[Add ...]ボタンをクリックすると表示される Add License 画面で ライセンス文字列を「License Key」欄に直接入力します。

管理画面のライセンス情報入力画面で登録済みのライセンス情報を再入力した場合、その登録処理 はキャンセルされます。ライセンスの登録が完了すると、登録済みライセンスの一覧情報が表示さ れます。各ライセンスが使用するポートに重複が検出された場合や、非ネットワークライセンスが 登録されるなどの問題が発生した際には、画面上にエラーメッセージ(英語)が表示されます。

ここまでの作業により、ライセンスマネージャにライセンスが登録されます。また、Brava Desktop を インストールしたクライアントマシンからアクセス可能になります。サーバーについては、通常作業は これで完了ですが、ライセンスマネージャの追加設定を行う場合は次のセクションを参照してください。

#### ●参考情報:

IGC License Manager サービスのインストール後、サービスを開始できない場合や動作が不安定になる 場合は、本サービスのログオン設定を変更することで状況が改善されないかお試しください。 ・インストールした管理用サービスのログオンアカウントを初期値から変更します。

- (1) Windows の「管理ツール」から「サービス」をクリックし、サービス一覧を表示する
- (2) サービス名「IGC License Manager」のプロパティを表示し、「ログオン」タブをクリックする
- (3) 「ログオン」欄の選択肢を「ローカルシステムアカウント」から「アカウント」に変更し、 ライセンスマネージャインストール時のユーザーアカウント情報とパスワードを入力する

(ローカル コンピューター) IC	SC License Manager のプロパティ
全般 ログオン 回復 依	存関係
ログオン・	
<ul> <li>コーカル システム アカウン</li> <li>デスクトップとの対話を</li> </ul>	<b>ト(L)</b> サービスに話午可( <u>W</u> )
<ul> <li>アカウント(T):</li> </ul>	Administrator@BDdomai.local 参照(B)
パスワード( <u>P</u> ):	••••••
パスワードの 確認入力(C):	100000000000000000000000000000000000000
ユーザー アカウントのログオン	オブションの構成の詳細を表示します

(4) [OK]ボタンをクリックしてプロパティを閉じて、本サービスの再起動を一回実行する

## ライセンスの管理

ライセンスマネージャ「IGC License Manager Administrator」の使用方法やライセンスマネージャ管 理画面上でライセンス を管理する方法を説明します。

## ライセンスの登録と削除

購入したライセンスの登録および削除をライセンスマネージャで行う場合は、管理画面メニューの [Tools]-[License Setup]を選択し、License Setup 画面を表示します。

ライセンス情報のインポート(登録処理)は、[Add...]ボタンをクリックしてライセンスキーの文字列 を直接入力するか、[Import From File...]ボタンをクリックしてインポート対象のライセンスファイル (IGCKey.lic)を指定します。

また、登録したライセンス情報を削除する場合は、対象ライセンス情報を右クリックすると表示される ショートカットメニューから[Delete]ボタンをクリックします。警告画面が表示されますが、そのまま 削除すると本操作を行った時点から、削除されたライセンスで接続が許可されていた Brava Desktop は 使用できなくなります。

## クライアント PC へのライセンス配布

ライセンスマネージャでライセンスのインポート処理が完了したら、同じライセンスファイルを使用してクライアント PC へ Brava Desktop を導入します。

- 1. Brava Desktop をクライアント PC ヘインストールします。 Brava Desktop 16.0 のインストールプログラムは下記 URL からダウンロードできます。
  - Brava Desktop 16.0 (EXE 形式) http://www.bravaviewer.jp/support/dl/bd/BravaDesktop\_16\_JP.exe
  - Brava Desktop 16.0 (MSI 形式)
     <a href="http://www.bravaviewer.jp/support/dl/bd/BravaDesktop\_16\_JP.msi">http://www.bravaviewer.jp/support/dl/bd/BravaDesktop\_16\_JP.msi</a>

インストールする Brava Desktop のバージョンとライセンスファイルのバージョンは合わせる ように注意してください。

※バージョン番号に関係なく、Brava Desktop のライセンスファイル名は常に「IGCKey.lic」 です。異なるバージョンのライセンスファイルとインストールプログラムを組み合わせて使用 しないように注意してください。

EXE ファイルは、インストールウィザードを起動する形で端末1台ごとにインストールする場合 に使用します。詳細な使用方法は、「Brava Desktop インストール手順」(下記 URL)を参照 してください。

http://www.bravaviewer.jp/support/bd/installexe.html

MSI ファイルは、インストールウィザードを使用せずコマンドラインからインストールする場合 に使用します。MSI ファイルを使用する場合、いくつか注意点があります。

- ・Brava Desktopの動作環境として以下の再頒布パッケージも必要です。
  - (a) Microsoft Visual C++ 2010 SP1 再頒布可能パッケージ (10.0.30319)
  - (b) Microsoft Visual C++ 2013 再頒布可能パッケージ (12.0.30501)
  - MSI ファイルを使用前に、上記プログラムをクライアント PC ヘインストールしてください。
  - ※「Visual Studio 2013 Visual C++ 再頒布可能パッケージ」については vcredist\_x86.exe
     (6.2MB)をダウンロードしてください。
- Brava Desktop 16.0 を msiexec コマンドからインストールする場合のコマンド実行形式を ご説明します。 (サイレントインストールする場合)
   msiexec /qn /i "BravaDesktop\_74\_JP.msi" LICENSEDIR="IGCKey.lic 保存フォルダ"
   例 1) C:¥TEMP に IGCKey.lic を保存した場合
   msiexec /qn /i "C:¥BravaDesktop\_16\_JP.msi" LICENSEDIR="C:¥TEMP"
   例 2) C:¥TEMP に IGCKey.lic を保存した場合

msiexec /qn /i "C:\BravaDesktop\_16\_JP.msi" LICENSEDIR="\FSV\Share\TEMP"

クライアント PC への Brava Desktop インストールが完了したら、Brava Desktop を起動します。
 ネットワークライセンスの上限に達していない場合、Brava Desktop を起動したユーザーアカウントがライセンスマネージャ側で認証されることにより、Brava Desktop を使用できます。

## ライセンスの認証方法

Brava Desktop からライセンスマネージャへの接続が成功して認証処理が完了すると、管理画面上に Brava Desktop を使用している端末の Windows ユーザー名がライセンス使用者として表示されます。 本ガイドでは、購入したネットワークライセンスで使用できるライセンス数を「シート」と表し、1ユ ーザーアカウントに対して Brava Desktop の使用が許可(認証)されることを「1シートが消費(占有) される」と表現します。シート数は。ユーザーアカウント単位で消費されます。 ネットワークライセンスを購入する際は、「シート固定ライセンス」と「同時使用ライセンス」を選択 します。シート固定ライセンスと同時使用ライセンスの間では、シートを消費する際の仕組みに違いが あります。

ライセンス認証(シートの固定)は、Brava Desktopの起動時に自動的に毎回行われます。

- シート固定ライセンスの場合
   Brava Desktop を起動してライセンスマネージャ側との通信に成功した場合、Windows ログイン ユーザー情報がライセンスマネージャ側のデータベースに登録されます。いったん登録されたユー ザーアカウント情報は管理画面上で削除しないかぎり1ユーザーにつき1シート分を占有した状態 で保持されます。登録された Windows ユーザーアカウントは、いつでも Brava Desktop を使用で きます。購入したライセンス数(シート数)の上限に占有されたシート数が超えると、それ以降の 新しいユーザーは Brava Desktop を使用できなくなります。
   シートの空きを増やすには、登録されたユーザーアカウント情報を管理画面から削除します。
- 同時使用ライセンスの場合

Brava Desktop を起動してライセンスマネージャ側との通信に成功した場合、Windows ログイン ユーザー情報がライセンスマネージャ側のデータベースに登録されます。Brava Desktop を終了す ると、占有されたシートは解放されるので、別の Windows ユーザーがその1シート分を代わりに 占有できます。

購入したライセンス数(シート数)の上限に達しないかぎりは、複数ユーザーが Brava Desktop を 使用できます。

また、管理画面上の操作により、任意ユーザーアカウントに対して1シートを占有できるように設 定(シートの予約)を行なうことも可能です。

シートの予約方法について説明します。

本手順は、Brava Desktop を使用する特定のユーザー情報を認証前に手動で登録する方法です。

- 1. 管理画面上でライセンス一覧を表示する
- 2.登録するライセンスの右クリックメニューから、[Add User]をクリックします。
- 3. ユーザー情報の入力ダイアログが表示されるので、シートを固定したいユーザーアカウント名を 下記形式で入力します。
  - ・ドメインユーザーを登録する場合は、 [ユーザー名@ドメイン名] 形式で登録します。
  - ・ワークグループユーザーを登録する場合は、「コンピュータ名¥ユーザー名」形式で登録します。

IGC License Manager Administrator		
File View Tools Help		
Brava! Desktop ActiveX 7.1 (′ User License) ⊕ → Brava! Desktop ActiveX 7.1 (⊗ User License) Brava! Desktop ActiveX 7.1 (Ջ User License)	Add User	×
Refresh User List Add User Reserve All Users	User Name:	suzuki@brava.local
Unreserve All Users Remove All Users	Comment:	
Delete Properties	ОК	Cancel Help

登録されているシートのステータス(使用状況)を変更するには、対象シートの右クリックメニューから、下記オプションのいずれかを選択します。

- [Delete] (削除)
   割り当てたシートを削除し、1シート未使用の状態に戻します。
- [Reserve] (予約)
   □ 同時使用ライセンスのみ使用できます。指定するユーザーに対して常に1シートを割り当てます。
- [Unreserve] (予約開放) 同時使用ライセンスのみ使用できます。[Reserve]で割り当てられた1シートを開放します。
- [Revoke] (使用停止)
   選択したシートの使用を停止します。
  - 注意: [Reserve]および[Unreserve]は、同時使用ライセンスを使用している場合のみ選択可能です。 シート固定ライセンスの場合、各メニューはグレイアウトしていて選択できません。

使用中のシートに対しては、ユーザー名の左側に緑の鍵のアイコンが表示されます。 使用されていないシートに対しては、ユーザー名の左側に青い鍵のアイコンが表示されます。 使用停止(Revoke)されたシートに対しては、ユーザー名の左側に赤い鍵のアイコンが表示されます。 使用停止されたユーザーは、それ以降 Brava Desktop を使用することができません。 使用停止されたユーザーに対して、ライセンスの使用許可を与える場合は、対象ユーザー情報を削除し てから、シートの固定処理を再登録する必要があります。

## ライセンス使用状況の確認

ライセンスの右クリックメニューから [Properties]をクリックすると、選択したライセンスに関するプロパティ画面が開きます。プロパティ画面上では、累計使用時間やライセンス数やその時点で使用可能なシート数、Brava Desktop の使用状況など様々な統計情報を確認することができます。

GIGC License Manager Admin File View Tools Help	istrator _ 🗆 🗙
Brava! Desktop ActiveX 7.1	Perr Licescol     Refresh User List     Add User     Remove All Users     Delete
	Properties

ライセンスプロパティの項目 については、次ページを参照してください。

License Properties	[License Properties]- ライセンス情報
Product Information         License Key       SWJ8W-VP6         Customer ID       1000         Product Name       Brava! Deski         Host / IP Address       on.<000	Licensekey-ライセンス文字列 Customer ID -PIN Number Product Name - 購入ライセンスの製品名 Host / IP Address - 登録したコンピュータ名/IP アドレス Port Number -ライセンスマネージャが使用するポート番号 Expiration Date -ライセンスの有効期限
Total Seats Licensed 30 Allocated Seats 2	[シート情報]
Available Seats 1	Total Seats Licensed -ライセンスが所有する合計シート数
Seats In Use 1 Seats Not In Use 1	Allocated Seats -固定済みシート数
Reserved Users 2 Revoked Users 0	Available Seats -使用可能な残りシート数
	Seats In Use -現在使用中のシート数
License Install Date June 0 Total Usage Time 8 Hour	Seats No In Use -現在使用されていないシート数
Total Requests 28	Reserved Users -予約したシート数
Total Hequests Denied 6	Revoked Users -使用停止シート数
	[ライセンス統計情報]
	License Install Date - ライセンス登録日(年月日) Total Usage Time -合計使用時間
	Total Requests - ライセンスに対するリクエスト数
	Total Request Denied -ライセンスに対するリクエスト拒否数

※プロパティ画面で確認できる情報をテキスト出力する機能は備わっていません。

## シート使用状況の確認

登録されたシートの使用状況については、使用時間、割り当て日付などシート(ユーザー名)にカーソ ルを合わせて右クリックすると表示される[Properties]をクリックすることで使用状況を確認できます。



ユーザープロパティ項目一覧



## リモート管理

ライセンスマネージャのインストール先サーバー(ライセンスマネージャサーバー)とは別のマシン (リモート管理 PC)から管理画面のリモート操作を行うことができます。本リモート管理機能を使用す る場合は、以下の順番で初期設定を行います。

・リモート管理ユーザー情報の登録(ライセンスマネージャサーバーでの設定)

・ライセンスマネージャへのリモート接続(リモート管理 P C での設定)

リモート管理ユーザー情報の登録

はじめに、ライセンスマネージャサーバーへのリモート接続を許可するユーザーアカウント情報を追加 します。 ユーザーアカウント情報の登録処理は、管理画面メニューの[Tools] – [Administrator Setup] から行います。(下画面)



Administrator Setup 画面で[Add...]ボタンをクリックし、許可するユーザーアカウントを登録します。

- 例1) ユーザー「BDUser(ドメイン名: BD.local)」からのリモート接続を許可する場合 User Name: 「BDUser@BD.local」
- 例2)ユーザー「BDUser(ドメイン非参加」からのリモート接続を許可する場合 User Name:「コンピュータ名¥BDUesr」

ユーザーアカウントを追加すると、一覧画面に追加したユーザーアカウント情報およびタイプ(Type: Remote)が追加表示されます。

リモート管理ユーザーは本画面上から削除することが可能ですが、ローカルユーザー(Type: Local)は 削除できません。リモート管理ユーザー名を削除するには、該当ユーザー名を選択してから、

[Remove]ボタンをクリックします。続けて、削除前の確認ダイアログが表示されるので、[はい]ボタン をクリックします。

Administrator Setup			×
Administrator	Туре		
techadmin@ocean.local	Local		
bdremoteadmin@igc.local	Remote		
IGC License Manag	er Administrator		×
Are you sure you wa	nt to remove adminis	strator 'bdremoteadmin	@igc.local'?
			いいえ( <u>N</u> )
Add	Remove	Close Help	

リモート管理 PC では、接続先ライセンスマネージャのほぼ全ての機能を使用することができますが、ラ イセンス管理サービスの開始・停止操作は、ライセンス管理サービスがインストールされたマシン上の 管理画面からのみ実行できます。また、ライセンス管理サービスに対して接続できるのは1ユーザーの みです。同時に複数のリモート管理 PC から管理用サービス(管理画面)へ接続することはできません。 ライセンス管理サービスにファイアウォールを経由して接続する場合は、ライセンス管理サービスが使 用するポート(既定値は TCP ポート番号 8208)に対するアクセス許可を行う必要があります。特定ポー トへのアクセス許可の詳細に関しては、ご使用のファイアウォールソフトウェアまたはハードウェアの 説明書を参照してください。

### ライセンスマネージャへのリモート接続

リモート管理 P C では、ライセンスマネージャサーバーのセットアップ時と同じようにプログラムやラ イセンスマネージャ用サービスのインストールなどライセンス情報のインポート以外の初期設定を行う 必要があります。その後で、リモート管理対象(接続先)にするライセンスマネージャサーバーの情報 を設定します。 設定手順は、以下の通りです。

- リモート管理 PC にライセンスマネージャをインストールし、ライセンス情報の登録処理以外の初期設定を行います。インストール手順は、本ガイドの P.6~P.11 を参照してください。
- 2. 管理画面を起動し、管理画面メニューの[Tools] [Communication Setup...]をクリックします。
- Communication Setup 画面が表示されたら、接続先となるライセンスマネージャサーバー情報 を「Host Name or IP Address」欄と「Administrator Port Number」欄に入力します。
   「Host Name or IP Address」欄については、ライセンスマネージャサーバーのホスト名または IPv4 アドレスを入力します。「Administrator Port Number」欄については、ライセンス管理サ ービス用の TCP ポート番号(既定値は 8208)を入力して[OK]ボタンをクリックします。

Communications Setup	×
License Manager Service Information	
Host Name or IP Address MyHostName	
Administrator Port Number 8208	
OK Cancel	Help

注意事項:

ローカル(リモート管理 PC 上)にライセンスマネージャサービスがインストールされている場合、 [Communications Setup]ではそれとは別のポートを使用してください。ローカルで設定したライ センスが持つポートを使用することはできません。

接続対象のリモート管理サービスを変更する場合には、以下の手順が必要です。

- 管理画面メニューの[Tools]-[Service]-[Disconnect From Service]をクリックして、サービスへの接続を切断します。
- 管理画面メニューの[Tools]-[Communication Setup]から新たなリモート接続先のマシン 情報を入力します。
- 3. 管理画面メニューの[Tools]-[Service]-[Connect To Service]でサービスに接続します。

#### IPV4/IPV6 アドレス対応

複数の IP アドレスを持つリモート管理 PC 上では、ライセンスマネージャサービスは一番目に認識する アドレスを使用します。複数のネットワークインターフェースを持つライセンスマネージャサーバーで 特定の IP アドレスのみを認識させたい場合、以下の設定を行ってください。

- 1. IGC License Manager サービスを停止します。
- IGC License Manager インストールフォルダ直下にある LMService.ini をテキストエディタで 開き、[Options]セクション内の末尾に下記の一行を追記して、上書き保存します。
   AdministrationHostName=<IPv4 Address> or <IPv6 Address> を記述する
  - 例)AdministrationHostName=192.168.1.111
- 3. IGC License Manager サービスを開始します。

Brava Desktop がインストールされているクライアント PC は DNS で設定されているホスト名/IP アドレスに一致するライセンスマネージャサーバーにアクセスしようとします。AdministrationHostNameでは DNS で設定されているアドレスと一致する情報を設定してください。

※日本語環境では、IPv6 Address 環境での動作検証を実施していません。本設定を行う際は、IPv4
 Address(例:192.168.1.111)を識別用情報として登録してください。

ライセンスマネージャのアンインストール

ライセンスマネージャのアンインストール手順を説明します。

- 1. 管理画面を起動します。
- 2. 管理画面メニューの[Tools]-[Service]-[Disconnect From Service]をクリックします。
- 3. 管理画面に下記メッセージが表示されていることを確認してから、[Tools]- [Service]-

[Uninstall Service]をクリックします。



4. Windows の コントロールパネルから「プログラムと機能」画面を表示します。

[コントロールパネル] - [プログラム] - [プログラムのアンインストール]から表示できます。

- 5. プログラム一覧で「IGC License Manager」をダブルクリックします。
- 6. アンインストール確認画面(下画面)が表示されたら、[はい]ボタンを クリックします。

IGC License Manager – InstallShield Wizard	$\times$
Uninstalling the License Manager will affect any network clients that are being administered by this License Manager service. Are you sure you want to continue with the uninstall?	
(はい(Y) いいえ(N)	

7. アンインストール処理が開始されます。

## お問い合わせ先

Brava Desktop やネットワークライセンス、ライセンスマネージャに関するご質問、またはライセンス

のエディション等については、下記までお問合せください。

株式会社オーシャンブリッジ (Brava!シリーズ製品国内総販売代理店)

E-mail: bdt@oceanbridge.jp

Web サイト: http://www.bravaviewer.jp/products/desktop/